

日頃の感謝を含め工業団地で夏まつりを開催

～各社が工夫を凝らし模擬店を出店～

協同組合同母工業団地工業会(小野健一理事長/組合員：25名)は7月17日(水)国母公園グラウンドにおいて第46回夏まつりを盛大に開催した。

当日は、梅雨明け前ではあったが天候に恵まれ、午後6時に吉本興業所属の芸人「いしいそうたろう」の司会で開会し、小野理事長から夏まつりが関係者の協力のもと無事開催できたことに対して感謝のあいさつがあり、続いて来賓のあいさつと来賓の紹介が行われ夏まつりが開会した。

ステージイベントでは「カラオケのど自慢大会」や「ラッキーくじ抽選」など夏まつり参加者に喜んでもらおうと創意工夫された企画が行われ、大いに夏まつりを盛り上げるものとなった。

カラオケのど自慢大会では、組合員の従業員が



開会セレモニーの様子

自慢の歌声とパフォーマンスを披露し、ゲストで招かれた「やまなし大使」で県内でも活躍しているシンガーソングライターの神部冬馬が歌を披露し、観客から大きな歓声を浴びていた。

この夏まつりは、組合員の福利厚生事業の一環として開催され、組合員の従業員や家族をはじめ地元住民との親睦交流の場として組合設立当時から開催されているもので、組合のイベントとしてだけでなく、今では地域の皆さんも楽しみにしている恒例のイベントとなっている。

今回46回を迎えた会場には、組合員の従業員とその家族や近隣住民を含め大勢の参加者があり、各組合員が工夫を凝らした飲食等の模擬店が採算度外視で多数出店し、参加者は祭りを楽しんでいた。



にぎわいをみせる会場の様子

